

事務事業名	防災拠点への再生可能エネルギー導入事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2014- 900156				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦				
			所属担当	生涯学習担当	担当者名	小野 晃利				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	10	04	03	060	05
施策	32	自然と共生する地域づくり		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	法令根拠		<input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業の内容概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市地域防災計画で本部代替施設拠点に位置づけられている「楡形生涯学習センター」に太陽光発電・蓄電池を設置し、災害時の独立電源を確保する。 また、屋内照明を高効率省エネ機器(LED)に更新し、長寿命化、ランニングコストの低減を図り地球温暖化対策に貢献する。		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			設計監理委託料	2,236						
		工事請負費	25,539							
						計 27,775				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 グリーンニューディール基金補助金・太陽光15kw(補助率10/10)・リチウム蓄電池10kwh(補助率10/10)・LED照明設置7(補助率2/3)
27年度活動予定	H26年度単年度事業のため、なし。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	市民が自然エネルギーに関心を寄せ、家庭への導入が進む。 公共施設への自然エネルギー設備の整備が進む。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	CO2排出量が削減され、温暖化対策が推進される。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 太陽光容量	Kw
	イ 蓄電池用量	Kwh
	ウ 工事発注に係る協議回数	回
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 人口	人
	イ 世帯数	世帯
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア 住宅用太陽光エネルギーシステム導入の助成件数	件
	イ 自然エネルギー設備を設置した公共施設の数	施設
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア CO2削減量	t/年

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円			21,625				
		地方債	千円			5,800				
		その他	千円							
		一般財源	千円			350				
		事業費計(A)	千円	0	0	27,775	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人								
	延べ業務時間	時間								
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)+(B)	千円	0	0	27,775	0	0	0	
活動指標	ア	Kw			15.0					
	イ	Kwh			10.0					
	ウ	回			10.0					
対象指標	ア	人			73,211.0					
	イ	世帯			26,188.0					
	ウ									
成果指標	ア	件			350.0					
	イ	施設			1.0					
上位成果指標	ア	t/年								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市長の掲げるまちづくりを実現する「地域エネルギー活用プロジェクト」のひとつである。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	震災を受け、再生可能エネルギーへの関心が一段と高まっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特に市民からの意見要望はないが、事業者などからは今後の進展に興味を寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	予算が確保できなかったが、補助事業により事業費を確保できたため。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	防災拠点への再生可能エネルギー導入事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地球温暖化対策は、総合計画後期基本計画において重点事業とされており、施設体系との整合性はとれている。事業実施により施策の目標値(まちづくり指標)の成果向上が見込める。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 温暖化対策は市長のローカルマニフェストであり、市の施策として行うのは妥当である。また、民間(集客施設・自動車会社)にも設置に向けての動きがあり、官民一体となってインフラ整備をする必要がある。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域に存在する新エネルギーの重要性を市民が再認識することで、本市の自然を守り、地球温暖化に配慮したまちづくりを、市全体で図って行きたいという考えから妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民や事業者が省エネルギーに関心を寄せており、プロジェクトの展開により一層の成果が期待できる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 エネルギーの地産地消に向けて施策を展開するもので、発電施設の整備などの事業費も今後プロジェクトの中で検討していく。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員で実施するもので、削減策は考えていない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 省エネルギー、温暖化対策の活用策であり、市内及び市民に公平公正な事業であり、受益も平等に享受される。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					